

## しあわせの村合宿を終えて

大阪頸髄損傷者連絡会 K・S

今回、しあわせの村宿泊合宿に初めて参加させていただきました、大阪のK・Sと申します。この宿泊合宿には2・3年前からお誘いいただいたのですが、大学の期末試験と重なっていたり、あとは不安だったこともありお断りしておりました。今年は土田さんに強く推していただいたことで参加に踏み切ることができました。

この縦横夢人に掲載していただくのは初めてなので、簡単に自己紹介させていただこうと思います。高校二年生(2006年)の時にラグビーの練習中、首の骨を折り頸髄損傷という大ケガをしました。現在は肩から下を自分の意思で動かすことが出来ません。受傷してから3年間の引きこもりを経て、高校に復学をしてそして今年の3月に大学を卒業、今は司法書士になることを目標に勉強しております。

しあわせの村へは電車とバスを乗り継いで行くのですが、電動車椅子で遠出するのが2回目だったのでこれが大きな不安の一つでした。操作面については電車の乗り降りや多くの人が行きかう駅構内の移動はまだ大丈夫でしたが、バスに乗ってからの車椅子スペースへの壁に寄せる動作が難しく、いろんな所にぶつけながらも何とか乗ることが出来ました。これについてはもっと練習しないといけないなと思ったのと同時に、もう少し乗りやすい方法や乗り位置を考える必要があると思いました。

しあわせの村に到着してからは、事前に自宅へ来て介助練習をしてくれた学生さん3名のうちの1名が私についてくれることになりました。少し休憩したらバーベキュー場へ向かうということだったので先に尿を捨てておこうとトイレに行きました。ここで改めて伝える難しさを感じるようになります。いつもなら何も言わなくてもヘルパーさんがやってくれるのですが、学生さんは何も知らないのひとつひとつ説明をしていきました。どのように言えば簡単に伝わるのかを考えながらだったので、そのときは必死でしたが今思うと私自身良い勉強になったと感じます。

バーベキュー場に到着すると地面がでこぼこ

でちょっとした山みたいなのところもあり、転倒しないか不安で結構こわかったのですが、意外と大丈夫でイケるもんだなと思いました。学生さんにとって恐らく初めてであろう食事介助や、外が暑かったので冷たいタオルを首に巻いてくれたりしてとても有り難かったです。梅雨の時期でしたが天候も良く、自然の中でのバーベキューは最高でした。その後は交流会もあり楽しい時間を過ごしました。

部屋に戻ってからは寝支度をしてベッドに移るのですが、簡易の移乗用のリフトをベッドの配置上使用することができず、学生さんに抱えてもらって移ることになり少し不安もありました。しかし、男子学生さん4人がかりだったのでそれほど不安もなく、しっかり移ることができました。機械を使わなくても安全に移乗できることをそこでまたひとつ知ることができました。

この宿泊合宿を終えて感じたことは、精神面が強くなったことだと思います。行ったことのない場所に電動車椅子で行ってみようと思えるようになり、また、身内じゃなくても一泊二日ぐらいなら全然旅行に行けそうだなと思えるようになっていました。

正直に言うとすごく疲れたのですが、達成感や充実感をもすごく感じました。そして、一生懸命な学生さん達の姿を見てとても刺激を受けました。振り返ると何かすごい経験をしたなと実感しております。本当に楽しい一泊二日でした。ありがとうございました。

